

あいサポートとっとりフォーラム：特番
20と21のまんなか GO TO とっとり
新しいノーマルへのギアチェンジ 新しい社会と福祉は

21回目にして新型コロナウイルスに阻まれてしまいました。今、社会全体、新しい日常が模索され福祉も次のステップが問われています。コロナ最中・「今どうしたらいいの?」に、何かのヒントになればと、一日だけの特番フォーラムとして開催します。今こそ国連採択(2015年・国連サミット)「地球を破壊から守ること」「誰一人取り残さないこと」を柱としたSDGsの実践の時と位置付け「オンライン・GO TO とっとりフォーラム 特番」として「お正月はとっとりで!!」の合言葉に、こころあたたまるゲストのみなさんとオンラインでつなぎます。コロナ対策 best distanceの鳥取から「がんばろう 福祉!」エール判で一年のスタートにとご案内致します。

開催日時：令和3年1月9日(土) 9時15分～16時30分

開催方法：YouTube配信と会場参加のハイブリッド開催

参加会場：米子コンベンションセンター国際会議室

定員：■YouTube配信 申込方法をご覧ください。

■会場参加 感染予防対策のため100名まで(申込順)：定員になり次第〆切

・入場の際にはマスク着用・検温・手指消毒を実施します。

・発熱が認められれば入場をお断りします。

■新型コロナ感染状況が特別警報発令となった場合、中止とする場合があります。

申込方法：別紙申込書参照

参加費：YouTube視聴参加[無料] 会場参加[資料代1000円]

日程：

09:15 オープニング あいさつ パフォーマンス予定 【ライブ】

09:30 激励のメッセージ 伊木隆司(米子市長)[交渉中] 【ライブ】
～コロナ禍の困難に共に向き合う 力強い市政～

09:45 ビデオメッセージ 衛藤晟一(参議院議員・前一億総活躍担当大臣) 【ビデオ】
「がんばろう 福祉」

10:00 休憩・会場内換気

10:10 コロナ禍 対話 シンポジウム 【ライブ】
「福祉 教育からみた・with コロナ ポストコロナ」
～6人が語る「今」とこれから～
変化する社会と福祉・新しい日常は何をもたらすか

★現役の大学生の暮らしと思い・生の声は？

源河真規子（厚生労働省社会援護局・障害保健福祉部企画課長）

八木裕子（東洋大学ライフデザイン学部生活支援学科准教授）

特別ゲスト 東洋大学ライフデザイン学部生活支援学科学生3名【ズームインタビュー】

大塚 晃（コディネーター・上智社会福祉専門学校教員・元上智大学社会福祉学科教授）

11：40 ビデオメッセージ 山本ひろし（参議院議員・厚生労働省副大臣） 【ビデオ】
「がんばろう 福祉」

11：55 休憩・会場換気

13：00 新春鼎談 【ライブ】
コロナ禍をひもとき 新時代への提言
赤沢亮正（衆議院議員・内閣府副大臣）
平井伸治（鳥取県知事）[交渉中]
廣江 晃（コディネーター・社会福祉法人こうほうえん理事長）

14：00 行政説明 「コロナ禍・新年度の福祉施策のポイント」 【ライブ】
竹内尚也（厚生労働省社会援護局・障害保健福祉部障害福祉課長）

15：00 休憩・会場換気

15：10 [新しい福祉への展開] 福島復興と福祉とSDGs～「誰一人取り残さない」 【ズーム】
2015年、国連サミットで採択されたSDGsは「誰一人取り残さない持続可能で多様性と包摂性のある社会の実現」を目的に17の目標と169のターゲットにこめられている。世界につながるSDGsに励まされ実践されているお話を聞きます。
富永美保（特定非営利活動法人しんせい 理事・事務局長）

16：10 パフォーマンス予定 【ライブ】

16：25 エールをBGMに 閉会 21回目につなぐ（ナレーション入り）

★とっとりフォーラムお楽しみ交流会は今回行いません。

感染対策をおこない各自でお楽しみください。

★本番・とっとりフォーラム21は2022年1月9日（日）・10日（月・祝日）を予定しています。
新型コロナ感染が収束することを願います。

〔後援予定〕

鳥取県・鳥取労働局・米子市・境港市・鳥取市・倉吉市・鳥取県社会福祉協議会・鳥取県手をつなぐ育成会・鳥取県知的障害者福祉協会・NHK鳥取放送局・BSS山陰放送・日本海テレビ・山陰中央テレビ・中海テレビ放送・新日本海新聞社・山陰中央新報社・朝日新聞鳥取総局・毎日新聞鳥取支局・読売新聞鳥取支局（順不同・敬称略）